

町政を問う！



田中豊文 議員

小松開作地区若者 定住促進住宅について

問 地盤の液状化の安全率についての質疑に対し、「液状化の検討はしていない」というのが従来の答弁であるが、改めて、この住宅の液状化に対する安全性について、技術的根拠による答弁を求める。

答 土地造成時における地質調査において自沈層が確認されたため、その対策として地盤を良質土で置き換え、締め固めた上で「べた基礎」を採用しており、建物の基礎構造の強度は確保され、液状化や地盤の変形・沈下は抑制できると判断したため、その後の検討は行っていない。

町内のゴミ対策について

問 高齢化が進行する中で、現実に即した対策が求められていると考えられ、これまでのルールを見直し、ゴミの収集体制を根本的に見直す必要があるのではないか。

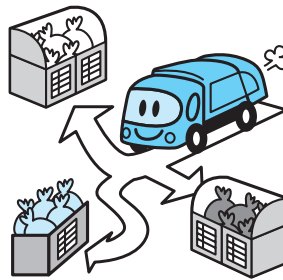
答 また、不法投棄や漂着ゴミの問題など、遠目に見て美しい島でも、足を踏み入れるとゴミだらけというのでは、自然環境を生かした観光交流も本物にはならず、ゴミの問題にも本腰を入れて取り組むことが必要不可欠である。

これからの地域全体のゴミの問題について、町としてのよくな対策方針を持っているのかを尋ねる。

いずれ、現在のシステムも耐用年数を迎えるので、堆肥化やサーマルリサイクル(熱の再利用)などのゴミ処理やICTを活用した収集運搬ルート(熱の再利用)の整備なども含め、町全体として広い観点から検討をすべきではないか。

答 本町では、循環型社会の創造を展開するため、ゴミの減量

化や資源化を進めており、具体的な取り組みの一例として、生活ゴミの収集運搬は現在の別区分を継続し、関係機関と連携した不法投棄防止対策及び海岸への漂着ゴミの適正処理等に取り組んでいるが、質問にあるような課題についても全体的な問題として検討しなければならぬと考え



避難所における障害者等への配慮について

問 防災対策、特に障害者等支援・配慮が必要な方への対策を中心にして、避難所運営マニュアルの中で、具体的にどのような規定され、実際に災害が発生した場合に、避難所においてどのような対策が講じられるのかについて尋ねる。

必要な支援の仕方も多様だが、まずは障害者の方が孤立し

ないようなように準備しているのか答弁を求める。

また、避難所運営に民間の力も借りなければならぬ状況が考えられる中、支援を必要とする方について、避難所内で情報共有するための、障害種別ごとの対応策を規定した避難所運営マニュアルを、障害者等の意見を聞きながら早急に整備すべきではないか。

答 災害時に保健師等が避難所の巡回を行い、避難が長期化する場合などは、福祉避難所への移動や施設入所等などについて、災害対策本部と連携して避難所運営を図りたい。

質問にあった具体的な避難所運営マニュアルは、早期策定ができるよう努力する。

